

ハートリレーキャンペーン

シーテック クリック募金 2024 報告書

クリック募金開設期間:2024年6月1日~2025年1月31日

クリック募金は期間内に2万クリックを達成しました。皆さまのご協力に感謝申し上げます。ご寄付は以下の5団体に配分し各活動に使わせて頂きました。2024年度に実施した活動をここにご報告致します。

(特活) 地域国際活動研究センター(CDIC・シーテック)

東ティモール民主共和国リキサ県マウメタ村にて、現地 NGO をカウンターパートにしています。マウメタ村民と連携して村の共有地にある水源地の保護活動をしています。植林した木は8m以上に成長し、数も増え、水源の保護林となっています。この林は同時に流れている小川の水を増やし、家畜の飲み水や村人の生活用水にと大きく役立っています。

現地 NGO は自ら UNDP や東ティモール環境省の支援を受けてきました。NGO として自立したと言えるでしょう。

一方、ネパール国では2015年の大震災で倒壊したカトマンズに近いスガバ私立小学校を訪問し、その子どもたちと交流してきています。今後は代表の女性校長と共に、地域の伝統芸能を通じて交流し、その振興と田園地帯を活かした環境行動を育てる教育活動を進めたいと考えています。



大きく成長し林となった保護林



東ティモール支援地で小川の水源地を利用した魚の養殖

ニカラグアの会

2024 年度の活動としては、例年と同じく、ニカラグアの素朴画を使ったカレンダーを製作・販売し、350 部ぐらいを売っています！これで得た収益金を、太陽光パネル製作講習会や工房としてお借りしている「学校」に寄付し、運営をサポートしています。その学校は、地域のために多方面に活動をし、自分たちの尊厳を高めながら、より自律的で心豊かな生活となることを目指しています。

「再生可能エネルギー」というテーマは、他の会でも重要な取り組みの一つになっていて、アフリカのカメルーンで新たな活動を始めようとする NGO とは、「太陽光」を含めた活用を共に進める予定です。当会としても、これまでの経験を他の地域や他の NGO に移転できることは、今後の活動を考える上において、より重要になってくると考えています！



(2 枚の写真とも、ニカラグア北部の街・エステリにある夜間女性成人学校においての、2019 年手作りソーラーパネル講習会風景)

南遊の会

ベトナム、ホーチミン市郊外のカンザー地区でマングローブ植林活動を開始して、今年で 25 年目を迎えます。最初に植えた苗は 10m を超えるほどに成長しています。この植林活動は日越の大学生を中心とするスタディツアーとして毎年 8 月に実施しています。

2024 年は日本側 37 名、ベトナム側 30 名と、これまで最多の人数が参加し、3 日間に渡って放棄工ビ養殖池で植林作業を行いました。放棄養殖池での作業は南遊の会の

活動としては初めての試みとなります。そこは思った以上に泥が深く、腰まで泥濘に



放棄工ビ養殖池での植林作業

はまり、1歩足を踏み出すことすら難しい過酷な条件の下での作業となりましたが、泥濘での移動のコツを掴むにつれて、泥んこになりながらの作業にも楽しさを見出せるようになり、作業効率も上がり、ほぼ予定された範囲に苗を植えることができました。カンザー地区のマングローブ林はベトナム戦争時に枯葉剤によって壊滅的被害を受けました。その後、地元の人々の努力によって緑は回復しましたが、単一樹種を植林した

ため本来の多様性は失われています。また植林後に塩田として開発され、農地やエビ養殖池に転用された土地もあり、近年はそれらが放棄されつつあります。南遊の会は、この森を本来の多様性に富んだ姿へ回復させるべく、日越協働での再造林事業に取り組んでいます。森造りには長い年月が必要です。私たちは微力ながらもできる限り息の長い活動を続けていこうと考えています。

（認定特活）アイキャン

フィリピン全土には、約37万人もの路上生活を送る子どもたちがいます。彼らは空腹や病気に苦しみ、事故や犯罪に巻き込まれる危険に常にさらされています。そして、その多くは毎日学校に通うのではなく、危険の多い路上で働き、わずかな小銭を稼ぎながら生き延びています。

こうした子どもたちが安心・安全な環境で暮らし、将来的に自立した生活を送ることができるよう、アイキャンでは、身寄りのない子どもや育児放棄された子どもを受け入れる児童養護施設「子どもの家」を運営しています。ここでは、衣食住や学校教育を提供するだけでなく、子どもたち自身がガーデニングを行い、インゲンやモリンガをはじめとする栄養価の高い野菜を栽培することで、情操教育の一環としながら、持続可能な運営を目指しています。収穫した野菜や果物は、子どもたちが調理を手伝いながら食事として提供され、健康への意識も育んでいます。

今後も子どもたちとの活動を継続してま

いりますので、引き続き応援をよろしくお願いいたします。



畑を耕す子どもたち



インゲン、モリンガ、さつまいもが植えられた菜園

(特活) イカオ・アコ

イカオ・アコは、フィリピン・ネグロス島、ボホール島で主にマングローブの植林など環境保全活動を行うNGOです。

かつて、対象地域のネグロス島の臨海部はマングローブが豊かな土地でした。しかし、材木の利用、農地開墾や養殖池への転換など、マングローブの伐採が継続的に行われてきたため、1950年代に13,000haあったマングローブの森は、一時500haまで減少しました。

干潮域に生育するマングローブの森は、水生動物の産卵場所、小魚や甲殻類の生息地として重要です。また、マングローブは他の樹木に比べて二酸化炭素の吸収量が大き

きいことから、近年では気候変動を緩和する効果が注目されています。

シーテッククリック募金により、Tomongtong (トモントン) 村にてマングローブの植林活動費として使わせていただきました(苗代、運搬費や間接経費などで1本当たり120円のコストがかかります)。今後、地元住民が継続してメンテナンスを行い、森を育てていきます。

皆様一人ひとりのクリックが募金につながったことに感謝し、途上国の環境保全活動を継続していきます。今後とも応援をよろしくお願いします。



シーテッククリック募金とは？

シーテッククリック募金WEBサイト (<http://www.ctechcorp.co.jp/bokin2024/>) より期間中に「応援します」をクリックして頂きます。1クリック=10円としてクリック数に応じて(株)シーテックが環境分野で活動する名古屋NGOセンター加盟5団体へ寄付します。上限金額は20万円です。

ご寄付20万円の配分について (2025年3月31日)

- | | |
|--------------------|------------|
| ・(特活) 地域国際活動研究センター | 34,000 円 |
| ・ニカラグアの会 | // 円 |
| ・南遊の会 | // 円 |
| ・(認定特活) アイキャン | // 円 |
| ・(特活) イカオ・アコ | // 円 (順不同) |

※事務手数料として寄付金額の15%(3万円)を頂戴しました。

特定非営利活動法人名古屋NGOセンター

〒460-0004 愛知県名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル7F

TEL&FAX 052-228-8109 E-Mail: info@nangoc.org